

(参考様式)

- ・ 下記の設問例を参考に、各企業において適宜設定してください。
- ・ 本調査は助成事業の取組事項の2～7に取り組む前に実施してください。
- ・ 調査の実施状況については実績報告書別紙1にてご報告いただきます。実際に回答した調査票をご提出いただく必要はありませんが、必要に応じ提出をお願いする場合があります。

社内意向調査

この調査は、今後、社内の「卵子凍結のための休暇制度」等を整備するに当たり、皆様にご意見をうかがうために実施するものです。ぜひご協力ください。

Q1

卵子凍結に関する以下の点について知っていましたか。

- ・ 将来の妊娠に備えて、卵子を体外に取り出して冷凍保存しておくこと
- ・ 受精前の卵子を凍結すること
- ・ 既婚者では、精子と受精させた受精卵（胚）の状態で保存すること
- ・ 卵子凍結するまでに時間がかかる、複数回の通院が必要であること

ア 知っていた

イ 一部知っていた

ウ 聞いたことはあるが、よく知らない

エ 全く知らなかった

Q2

卵子凍結には以下の種類があることを知っていましたか。

- ・ 病気の治療により妊娠しにくくなることが懸念される場合の卵子凍結
(がん等の病気の治療に先立っておこなう)
- ・ 病気により妊娠しにくくなることが懸念される場合の卵子凍結
(病気による卵巣の働きの低下に先立っておこなう)
- ・ 健康な女性が、年齢とともに妊娠しにくくなることを懸念する場合の卵子凍結

ア 全て知っていた

イ 一部知っていた

ウ 全て知らなかった

Q3

卵子凍結とは何を目的とした支援であるか、知っていましたか。

- ・ 妊娠・出産を希望するが、今はまだ妊娠・出産を選択しない女性が、将来の妊娠に向けて、加齢等による卵巣機能低下を危惧して行うことを目的としたもの
- ・ 将来、その卵子を使って妊娠・出産を行うことを目的としたもの
- ・ 「何歳で妊娠・出産することを目指すのか」「何歳で産前産後休業・育児休業をとるのか」というライフ・キャリアプランに係わる取り組みへの支援を目的としたもの

- ア 知っていた
- イ 知らなかった

Q 4

会社で、妊娠・出産や子育て等のライフプランや、仕事やキャリアアップ等のキャリアプランについて話す際に、卵子凍結について話題にすることはありますか。

- ア ある
- イ ない

Q 5

会社に「卵子凍結のための休暇制度」を整備する必要があると思いますか。

- ア 必要があると思う ⇒ Q 6 へ
- イ 必要と思わない ⇒ Q 9 へ

Q 6

必要があると思う理由は何ですか。

- ア 自身がライフ・キャリアプランを考える上で卵子凍結を行いたいから
- イ 自身が将来、卵子凍結を行うことを考えているから（可能性があるから）
- ウ 年齢を気にすることなく「妊娠したい」「出産したい」「育てたい」と思う時期に、妊娠を計画し、妊娠する可能性を残すことができるため、自身（又は上司・部下・同僚）がライフ・キャリアプランを考える上で卵子凍結も選択肢の一つと捉え、支援が必要であると考えているから
- エ その他（ ）

Q 7

「卵子凍結のための休暇制度」はどのようなものだと思いますか。

- ア 「卵子凍結のための休暇制度」の名称での整備
- イ 利用する際のプライバシーに配慮するため、既存の特別休暇制度の取得要件への追加や別名称での整備
- ウ その他（ ）

Q 8

卵子凍結を行う上で、休暇制度のほかに会社に整備してほしい制度はありますか（複数回答可）。

- ア テレワーク
- イ フレックスタイム制
- ウ 時差出勤
- エ その他（ ）
- オ 特にない

Q9

「卵子凍結のための休暇制度」の利用促進のために実施してほしいことはありますか。

ア 社内研修等による制度利用に対する職場の理解の促進

イ 社内研修等による上司の理解の促進

ウ ライフ・キャリアプランに関する支援（妊娠・出産がスキルアップやキャリアアップの
中断にならない取り組みなど）

エ 制度利用時の賃金補償

オ その他（ ）

カ 特にない

Q10

必要と思わない理由をお聞かせください。（自由記述）

（ ）